

## ■デザインコンセプト

「脊振町複合施設」のデザイン検討において、複合化のメリットを活かし、脊振らしさを表現するため、以下の3つのコンセプトを軸にデザインを検討します。

### 1. 脊振の街並みになじむスケール感

本施設は、高層化することにより周辺の街並みから突出し、圧迫感を与えるものではなく、施設のほとんどを2階建てに抑え、近隣建物とのスケール的な調和を図ります。

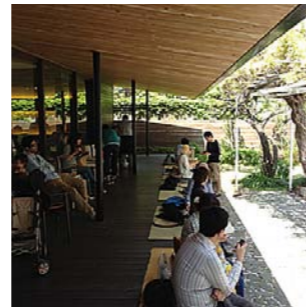
脊振の街並みになじむ、ヒューマンスケールな建物とし、いつでも誰でも気軽に利用しやすく、市民にとって愛着がわく複合施設とします。



### 2. 分棟形式的な建物配置による複合化の表現

3つの機能（支所・公民館・診療所）をひとかたまりの建物にせず、それぞれの機能が独立したような佇まいとします。

各機能は、通路などの屋内外の中間領域（共用空間）や、深い軒下空間によってつながれます。またその空間は、風が抜け、光が差し込む、市民のコミュニティスペースとなります。



### 3. 機能性と意匠性を両立した内外装デザイン

建物の外装には、ガラス、アルミ、金属屋根、セメントパネルなど現代的な建材を使用し、耐候性やメンテナンス性に配慮するとともに、透明感や軽やかさを表現します。

内装材は、清掃性が良く安全な建材を使用します。また、天井や壁の化粧材に木材を使用し、温かみのある空間を演出します。

